

としょえもん

令和元年度
第2号



読書の秋

図書委員会の企画でもっと楽しく！！



～上柚木小学校～

～いずみの森小中学校 第三中学校～

上柚木小学校では、「ゆずっこ100選」と名付けたブックリストを使い読書活動に取り組んでいます。ブックリストは、学校司書と担当の先生で作成し、1年かけて改訂したものです。取り組みを始めて3年目、素敵な本棚がお目見えしました。本校と近隣校の用務員さんの手作りです。先生方と図書委員で掲示を工夫し、表紙をずらりと並べて上柚木っ子を読書に誘います。図書の時間に司書が紹介すると、「読んでみたい！」と貸し出されていきます。

新校舎建設の為にプレハブ校舎に移り、早くも2年目となりました。学校図書館はスチールキャビネットを本棚替わりにしながらも毎日開館しており、新校舎の完成を待つばかりとなっています。

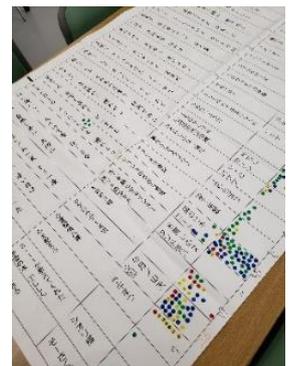
さて、親しみやすい学校図書館を目指して日々試行錯誤しているのは、活気ある図書委員会です。月に一度の委員会活動で、利用向上のための知恵や改善案を学年ごとに出し合います。毎年取り組む委員会主体のイベントでは、今年は新たに「いいねで決まる読書川柳」を校内で募集しました。応募者が、自分の好きな本を題材に川柳を詠み、生徒全員でエントリー作品に「いいね」シールを貼って投票するオリジナル企画です。学校司書がイベント展示コーナーを廊下に大きく設置し、委員会が新聞や集会でイベントへの参加を全校に呼び掛けた結果、個性豊かな22作品が揃いました。投票率は全生徒の70%にもなり、会場となった学校図書館前は多くの生徒で賑わいました。こうした歴代の図書委員会の熱意と意欲が、第三中学校の学校図書館を支えています。



また、10月の読書週間では、図書委員が日替わりで紙芝居を上演し、図書館は楽しいところだとアピールしてくれました。みんな、図書当番の時間をやりくりして練習していました。



委員会の活動風景



「読書川柳」のエントリー作品。右に『いいね』のシール。





ボランティア活動だより ～大和田小学校～



大和田小学校では月 1 回の活動で図書館の装飾を行っていただいていたのですが、今年度は学校図書館改装のお手伝いのためのボランティアを特別に募りました。

本校では年度初めに学校からボランティア募集の案内が出ます。読み聞かせと環境整備それぞれ希望の活動が選べます。今回の募集内容は「本を棚から出す」「本棚の掃除」「壁やドアの汚れ取り」です。普段と少し違う活動に、延べ 26 名の方が参加してくださいました。7 月 22・23 日、9 時半から 12 時という夏休み中の 2 日間で、白くまばゆい本棚が並ぶ美しい図書館へと様変わりました。

夏休み明けに図書館へやってきた児童は、明るくきれいになった図書館に大喜び。図書館の利用者もさらに増えました。

このように、ボランティア活動を学校のニーズに合わせて行っていただくことで、普段は手の届かない環境整備をより充実させることができます。これからも子どもたちや学校のためにお力添えをいただきますようよろしくお願いいたします。



10月27日は「はちおうじ読書の日」

八王子市では「はちおうじ読書の日」に合わせて「コラボ給食」(食育の一環)を実施しています。小学校では『まゆとおに』(富安陽子)から山菜おにぎりとお根汁、中学校では『ライオンと魔女』(C.S.ルイス)からマスのフライと粉ふきイモが献立に登場。学校司書による読み聞かせや本の紹介などで読書の秋を楽しみました。



『南極ではたらく』

わたぬき しゅん こ
渡貫 淳子 著／平凡社／2019 年

南極地域観測隊は、気象など様々なことを観測するプロフェッショナル集団です。彼らの活躍により、南極生態系のたくさんの謎が解き明かされています。

さて、南極に行くのは、調査隊員だけではありません。長期間南極で生活をするため、医療や調理などを専門としたサポートスタッフも共に参加します。本書は第 57 次南極地域観測隊に調理隊員として参加した著者の挑戦の日々が綴られています。毎日の料理に使う食材は、主に南極に入る前に調達したものを冷凍して使用します。限られた食材をおいしく調理する知恵と工夫が満載。今すぐまねできるレシピも多数紹介されています。調理隊員という仕事についてもよくわかるため、職業調べにも役立ちます。ぜひ、お近くの図書館で南極気分を味わってください。

大人も楽しむ子どもの本



『図書館に児童室ができた日』

ジャン・ピンボロー 作
デビー・アトウェル 絵

はりかえけい こ
張替恵子 訳／徳間書店／2013 年

主人公のアン・キャロル・ムーアは、19 世紀末にアメリカで生まれ、公共図書館で仕事をしていました。当時は、子どもたちが本に親しむ部屋がなく、アンは居心地の良い児童室をつくることに力を尽くしました。やがて、彼女の仕事は世界中に広まり、日本をはじめ、多くの図書館のお手本となりました。みなさんは、幼い頃好きだった絵本を覚えていますか。この週末は、公共図書館の児童コーナーで思い出の 1 冊を探してみませんか。



発行：令和元年（2019 年）12 月 10 日

問合せ先：八王子市学校図書館サポートセンター

〒193-0832 八王子市散田町 2-37-1

電話 042-664-1135